

事務事業チェックシート

事務事業No 369 事業名 がん対策事業(大腸がん)

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	7	健康で元気に暮らせる環境づくり
施策	1	健康づくりの推進
取組方針	2	成人保健対策の推進

事業種別	継続	
事業期間	永年 ~	
事業実施の根拠法令	健康増進法	
関連個別計画	健康わかやま21推進計画	
担当課・担当課長 (Tel)	地域保健課	松浦 英夫 (488-5119)
関連課		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	衛生費		
	項	保健衛生費		
	目	成人保健対策費		
	大事業	成人保健対策事業		
事項	がん対策事業(大腸がん)			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	<p>事業目的 (「誰・何」をどういう状態にする)ための事業か)</p> <p>日本人の死因第一位である「がん」を早期発見することで、早期治療に結びつけ、市民の健康保持をはかるだけでなく、自身の健康管理についての意識の向上をはかる。近年増加しつつある大腸がんは、将来がん患者の1位を占めるものと予想されている。しかし、大腸がんは早期に発見すれば治癒し、死亡率を減少させることが可能である。</p>	<p>事業内容</p> <p>大腸がん(集団・個別)検診</p> <p>◎集団検診 項目:問診、便潜血検査 場所・内容:①市内12地区での検診(地区回覧にて申込募集) ②特定健康診査とのセット検診(国保年金課で申込募集) ③胃・肺・乳がん検診とのセット検診(電話・ハガキによる申し込み)</p> <p>◎個別検診 項目:問診、便潜血検査 実施場所:和歌山市内の医療機関 内容:直接医療機関に申し込んで受診</p>				
	実施内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	<ul style="list-style-type: none"> 個別検診の実施 ラジオやイベントなどで周知 医療機関に精密検査対象者の結果報告を依頼 胃がんや乳がん集団検診と同時のセット検診を実施 複数のがん検診とセットで受診可能な集団検診を実施 特定健診とのセット検診の実施 40・45・50・55・60歳の対象市民に無料クーポン券を送付 40～69歳の市民にがん検診案内の個別勧奨通知を送付 	<ul style="list-style-type: none"> 個別検診の実施 ラジオやイベントなどで周知 40歳の市民に健康手帳を送付時に啓発チラシを同封 医療機関に精密検査対象者の結果報告を依頼 胃がんや乳がん集団検診と同時のセット検診を実施 複数のがん検診とセットで受診可能な集団検診を実施 特定健診とのセット検診の実施 40・45・50・55・60歳の対象市民に無料クーポン券を送付 40～69歳の市民にがん検診案内の個別勧奨通知を送付 	<ul style="list-style-type: none"> 個別検診の実施 ラジオやイベントなどで周知 40歳の市民に健康手帳を送付時に啓発チラシを同封 医療機関に精密検査対象者の結果報告を依頼 胃がんや乳がん集団検診と同時のセット検診を実施 複数のがん検診とセットで受診可能な集団検診を実施 特定健診とのセット検診の実施 40～69歳の市民にがん検診案内の個別勧奨通知を送付 	<ul style="list-style-type: none"> 個別検診の実施 ラジオやイベントなどで周知 40歳の市民に健康手帳を送付時に啓発チラシを同封 医療機関に精密検査対象者の結果報告を依頼 胃がんや乳がん集団検診と同時のセット検診を実施 複数のがん検診とセットで受診可能な集団検診を実施 特定健診とのセット検診の実施 40～69歳の市民にがん検診案内の個別勧奨通知を送付 	<ul style="list-style-type: none"> 個別検診の実施 ラジオやイベントなどで周知 40歳の市民に健康手帳を送付時に啓発チラシを同封 医療機関に精密検査対象者の結果報告を依頼 胃がんや乳がん集団検診と同時のセット検診を実施 複数のがん検診とセットで受診可能な集団検診を実施 特定健診とのセット検診の実施 40～69歳の市民にがん検診案内の個別勧奨通知を送付 	

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	14,252	17,141	17,021	18,329	18,495	17,859	17,158		17,158	
伸び率(%)	-	-	19.4%	6.9%	8.7%	▲2.6%	▲7.2%	▲100.0%		0.0%
人件費	正規職員	4,085	3,616	3,616	3,582	3,502	3,220	3,359		3,502
	正規職員以外	1,119	900	900	1,037	984	429	429		984
	小計	5,204	4,516	4,516	4,619	4,486	3,649	3,788		4,486
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源(税等)	14,252	17,141	17,021	18,329	18,495	17,859	17,158		17,158	
所要人数(人)	正規職員	0.54	0.49	0.49	0.47	0.47	0.41	0.42		0.47
	正規職員以外	0.76	0.61	0.61	0.66	0.66	0.28	0.28		0.66
主な予算内訳	印刷製本費299千円、がん検診委託料16171千円、医薬材料費298千円 等									

3 目標及び実績

指標	指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標	大腸がん検診の受診者数	人	目標値				
			実績値	11,254	12,015	9,191	
			達成度(%)				
成果指標	大腸がん検診の受診率	%	目標値	40	40	40	40
			実績値	9.3	10	4	
			達成度(%)	23.3%	25.0%	10.0%	
			目標値				
			実績値				
			達成度(%)				

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	○ 達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	健康増進を行うために二次予防は大きな役割を担っている。 市民の方々に「自分の健康は自分で守る」との意識の向上を積極的に推進していきたい。
見直し・改善内容	健康に対する意識向上に努めたい。